

# 福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

## 死は人生の終焉では無く

## 人生の完成である

—— 母、福寿田院誠直庭教清大姉（橋本直栄）を送って ——

七月十二日、住職の母が百三歳九ヶ月で永眠しました。葬儀では檀信徒の皆様には諸々お世話になり、御礼申し上げます。

母は明治四十二年十月に寒川の安楽寺で生まれ、五歳の時に両親と共に飯田岡の福田寺に來ました。他の兄弟は年長で各々親元から離れていました。八歳の時母親寿々が亡くなり、父親（当時六十八歳）と幼い娘

との奇妙な二人の生活が始まりました。貧しい生活ながら年老いた父親から愛情をいっぱい受けながら育つたようです。長じて小学校の先生をしながら父の面倒をみていましたが二十四歳の時、父が亡くなりひとりになりました。三年後に夫である橋本眞榮と結婚し住職として迎えました。その後第二次世界大戦をはさんで四人の子供を育て、末子猛（現住

職・尚信）が高野山で仏教学を学び始めた時期に眞榮が病死し、代務住職をお願いして福田寺のお守りをしていました。昭和四十七年六十三歳の時、現住職が高野山の修行を終え住職として晋山致しました。その後お参りの檀信徒の皆様と親しく接しながら百歳までお寺で過ごし、最後の三年間を介護を受けながら老人ホームで楽しく暮らしていました。亡くなる前二週間だけ食事を摂ることなく消えるように大往生致しました。

今、母の一生を振り返ってみると死を迎えることで人生が完成した様に思えます。一般に人は死ぬことでこの世の現実生活が全て終わってしまう終焉を迎えると受け止めます。確かに死をもって肉体も意識も全て消え去ってしまう感覚が強いので人生が終焉を迎えるという思いが優先するのは否めません。

母の死が特別なのだろうか?。百三歳まで長生きして人生を生き切ったからそう思えるのだろうか?。

確かに死は様々です。明らかに志半ばで病に倒れる人、事故で突然命を落とす人、幼くして親を悲しませる子、死は一人ひとり全く違う環境状況で迎えます。しかし死を迎えるという時点では全ての人が共通であ

ります。だからこそ死の条件は関係なく死はそれぞれの人にとって人生の完成であると思います。

何歳で死を迎えようと、どんな状況で死を迎えようと、その人にとって死は人生の完成なのです。なぜならばその人にとって別の人生は無いのですから・・・

☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆  
☆ ☆

# 本山・東寺で檀信徒授戒会

十月二十八日、本山である京都・東寺で檀信徒大会が開かれ、授戒会(じゅかいえ)が執り行われました。道場の関係で全国末寺から三百名限定の為、福田寺の割り当て人数は十名でしたのでお世話人さんだけに参加して頂きました。授戒会とは、仏弟子になるために戒を授かる式で、主な戒は十善戒といい、身で守る戒三、口で守る戒四、心で守る戒三の

十の戒を守ることを管長様から授けて頂くもので当日は三百名全員が授けて頂きました。道場は灌頂院(かんにじょういん)というお堂で、お大師様が戒を授ける為に構想を練って造られたもので、戒を授ける道場としては我が国随一の建物であります。式中は全ての扉が閉められ暗闇に管長様のお姿だけが微かに拝見出来る中、管長様の戒を授ける声が堂内に

\* \* \* \* \*

## 仏教相談

誰でも気軽にどうぞ

\* 勿論檀家さん以外でも仏

\* 事に関して、どうしたらよ

\* いのか? どんない些細な事

\* でもご相談ください。

\* 電話0465-13612755

\* 福田寺

\* \* \* \* \*

響きわたり、厳かな雰囲気の中で執り行われました。檀信徒一同随喜の思いに満ちた事と思えます。

弘法大師様の教えは、真言宗として日本に広まりました。その真言宗は、八二三年東寺が嵯峨天皇からお大師様に勅給せられたことにより、国から認められた宗教として開宗されたのであります。来る平成三五年(二〇二三)はお大師様が東寺を賜り、真言宗を立教開宗して一二〇〇の慶事の年に当たる事になります。

# 納骨堂建設・来春着工予定

大変長いことお待ちせしご心配をお掛けしている納骨堂であります。お掛けになっていた敷地問題が、官地（国有地を含む）の払い下げや栢山排水路の付け替え問題―栢山排水路問題は先代頃から五十年越しの問題でした―が解決を致しました。

今は、建築確認許可の申請と経営許可の申請をする為、建築業者さんと設計・施工の検討をしています。十二月六日に小田原市の条例に基づきまして、近隣住民の皆様にご設計・施工の説明会を開きました。檀信徒の方で設計・施工の詳しい内容を知りたい人はどうぞ申し出て下さい。順調に進めば二月頃には許可申請を提出し、五月頃から建設の着工が始まると思えます。

着工が始まりましたら、申込の受け付けを開始しようと思えます。既に予約をされている方には、予約時から年月も経ち、多少内容も変わったところもありますので、再度申込をして頂く為に、一般のご案内前に案内状をお渡し致しますので、ご承知おきいただきたいと思います。

## 掲示板の言葉

本堂前に掲示板を設置致しました。お寺からのお知らせや、時々のお言葉を掲載致します。心に響いてくれますでしょうか。

古（いにしえ）の人は道（みち）

を学んで利を謀（はか）らず

今の人は書（しょ）を読んで

但だ名（な）と財（ざい）とにす

―性靈集（弘法大師）より―

建設会社は伊勢原の（株）トーンホームです。小田原での実績としては一夜城（石橋）に出来た、鎧塚パテシエの工場兼販売所を建設した優良企業です。

お寺は地域社会と共にあるものです。今、富水地域にふさわしい供養施設はどういったものか？。住職が構想を練ったものです。乞うご期待下さい！

昔の人は学問をしたからといって

決してそれで金儲けをしようなどとはしなかった。しかるに、今の人は

ただ名譽と財を得ることの為に、書

を読む。

（千二百年前にお大師様が言っていることにビックリ！）

護摩摩供養△△

二月八日午後三時より修行

申し込み受付中

今年より新年厄除け護摩を一ヶ月

遅らせ、二月八日の午後三時よりと

変更させていただきました。正月八

日は住職が本山に向かなければな

りませんし、また、節分過ぎを新年

と考え新年薬師護摩供養としては適

切な日を設定させて頂きました。

時間も午後三時からと、就学児も参

加できる時間に変更致しましたので

よろしくご諒承いただきます様お願

い申し上げます。

記

期日・二月八日、午後三時より

祈祷料・・・三千元

祈祷内容・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、

交通安全、商売繁盛、業運繁栄、

学業成就、合格祈願、安産祈願、

子授け祈願、その他

申し込み・一月末日まで、電話可

電話 0465(36) 2755

FAX 0465(37) 6688

平成二十六年厄年

男性

前厄 昭和四十九年生まれ

本厄 昭和四十八年生まれ

後厄 昭和四十七年生まれ

女性

前厄 昭和五十八年生まれ

本厄 昭和五十七年生まれ

後厄 昭和五十六年生まれ

二元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、住職により新年の御祈祷が修法されます。ご自由に参拜ください。

暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めてください。特に大きなものや燃えないものは連絡下さい。

年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。